



日本スーパーマーケット協会

平成25年9月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	50,301,430 万円	100.0%	102.1%(102.2%)	48,500,535 万円	99.9%(100.4%)
食 料 品	42,781,676 万円	85.0%(84.2%)	102.6%(102.6%)	41,174,292 万円	100.0%(100.5%)
農 産	6,764,241 万円	13.5%(12.6%)	107.8%(105.8%)	6,536,288 万円	105.3%(103.7%)
水 産	4,181,656 万円	8.3%(8.0%)	102.9%(102.5%)	4,018,380 万円	100.2%(100.2%)
畜 産	4,899,938 万円	9.7%(9.2%)	105.6%(104.9%)	4,721,308 万円	102.8%(102.6%)
惣 菜	4,687,101 万円	9.3%(9.4%)	102.7%(102.9%)	4,495,862 万円	99.8%(100.4%)
日配食品	9,519,511 万円	18.9%(18.7%)	101.4%(101.8%)	9,154,060 万円	99.0%(99.8%)
加工食品	12,729,229 万円	25.3%(26.3%)	99.6%(100.9%)	12,248,394 万円	97.2%(98.9%)
生活関連	2,947,232 万円	5.9%(6.0%)	98.5%(98.8%)	2,868,499 万円	97.5%(98.3%)
衣 料 品	1,298,901 万円	2.6%(2.8%)	98.3%(95.9%)	1,273,013 万円	98.4%(96.0%)
そ の 他	3,273,621 万円	6.5%(7.0%)	100.6%(102.6%)	3,184,731 万円	100.6%(102.7%)

② 数 値

全店総売上高	50,301,430 万円	店 舗 数	4,424 店舗
総売場面積	8,610,046.7 m ²	総従業員数	227,058 人

店舗平均月商	11,370.1 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,776 円 (101.4%)
月間m ² 売上(前月)	5.8 万円 (6.1 万円)	平均店舗面積	1,946.2 m ²
月間坪売上(前月)	19.3 万円 (20.3 万円)	パート比率(前月)	77.2% (77.4%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 9月は、土曜日が一日少なく、月曜日が一日多い曜日回りで、曜日指数のダウンから前年同月比は2ヶ月ぶりに未達成だった
- ・ 全体的に寒暖の差が激しく、ホットメニュー（鍋商材、おでん商材、うどん、こんにゃく、中華まん など）の動きが好調だった。一方、涼味商材（アイス、飲料、ビール など）の動きは不振だった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は、猛暑・干ばつの影響で入荷減、相場高となりカット野菜やもやしの動向が良かった。また、去年の相場安の反動できゃべつや白菜、じゃがいもなど大幅に伸長した
- ・ 下旬は、気温低下の影響で、きのこ類など鍋物・煮物材料の動きが良かった
- ・ 果物は、梨、りんご、巨峰 など旬商品の動向は良かったが、カットフルーツの動きは鈍かった

○ 水産

- ・ 上旬の猛暑の影響で海水温が上昇し、さんまは水揚げ遅れ、下旬では気温低下や台風の影響で入荷不安定となり売上は不振だった。また、秋鮭も不漁の影響で売上を大きく落とした
- ・ 気温が下がった下旬は、鍋商材（たら、かわはぎ、つみれ など）の動向が良かった

○ 畜産

- ・ 上旬は、牛肉、豚肉共に焼肉商材を中心に動向が良かったが、中旬以降の気温低下に伴い切り落とし、こま切れなど煮込み商材の動向に変化してきた。また、豚肉しゃぶしゃぶ用の動きが良かった
- ・ 秋の運動会実施の地域では、鶏肉の切り身、加工肉のウインナー、ハムなどの動向が好調だった

○ 惣菜

- ・ 天候不順の影響で、麺類、天ぷら、おつまみ商材の鶏から揚げが苦戦した
- ・ 鮮魚部門でのさんまが不漁による価格上昇の影響で、総菜部門のさんま塩焼きの売上が伸長した

○ 日配・加工食品

- ・ 中旬以降からの気温低下に伴い、ホットメニュー（おでん材料、ラーメン など）やパン類の動きが好調に推移した。また、一方で涼味商材（飲料、アイス、チルド麺、そば など）の動きが不振だった。気温の変化に関わらず機能性ヨーグルトは好調に動いた
- ・ 加工食品カテゴリーのホットメニュー（シチュー、グラタン、インスタントコーヒー、カップスープ、袋麺、カップ麺 など）の動向が良かった。また、調味料、鍋つゆの動向も良かった

○ 「秋の行楽・お彼岸・運動会」について

- ・ 敬老の日は、カステラ、バームクーヘン、栗きんとんなど銘菓やドーナツ関連品の動きが良かった
- ・ 前年は残暑の影響で飲料関連、ビール関連が好調だったが、本年は気温低下の影響を受け厳しい状況となった
- ・ 鶏肉の中でも、もも切り身の動きが好調だった。また、加工肉のウインナー、ハムの動きが良かった

○ 「防災グッズ」について

- ・ 日常生活にも消費できるレトルト米飯やさばの缶詰、ミネラルウォーター2Lなどの動向が良かった
- ・ 非常袋、電池、ライトなどを中心に展開するも、動向は厳しかった

以上